

事業名	畜産技術奨励費			調書番号	76
細事業名	その他の事業経費(畜産技術奨励費)	財務コード	056404		
担当部課室	農政 部 畜産 課 生産振興 担当 (内線)	5261			

I 事業の概要

実施期間	始期 S31 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(山梨県家畜改良協会、山梨県肉畜鶏卵共進会実行委員会)、負担(畜産技術連盟)、県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 畜産農家(酪農、肉牛、養豚、養鶏)
	その対象をどのような状態にして 共進会への出品や参加を通して、日頃の 家畜改良や飼養管理技術の努力の成果を 競い合うとともに、生産技術向上の場として 活用する。
結果、何に結びつけるのか	畜産農家の生産意欲の向上や畜産経営の 安定的発展により県内の畜産振興が図られ る。
内容	○山梨県種畜共進会(生体:乳牛)、山梨県肉畜鶏卵共進会(畜産物:牛肉、豚肉、鶏卵)の開催 ○畜産技術連盟負担金 ○中央畜産技術研修会や各種事業推進会議等への参加

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度
活動指標	共進会出品数 (乳牛、牛肉、豚肉、鶏卵)	目標 205	205	208	208	166	166	135
		実績(見込) 198	178	201	166	168	75	
		達成率 96.6	86.8	96.6	79.8	101.2	45.2	
		達成区分 b	b	b	c	b	c	
成果指標	目標							
	実績(見込)							
	達成率							
	達成区分							
決算(予算) 単位:千円		774	1,325	709	714	779	863	578

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	共進会が出品物の競争の場としてだけでなく、飼養管理技術や育種改良等の情報交換の場として活用され、県内畜産物の品質向上の底上げに寄与している。
成果指標	b		

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

判断	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い	
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(県で目標を設定する家畜改良増殖や酪肉近代化計画に直結する取り組みであるため、県の主体的な関与が必要である。)		
有効性 (成果向上)	判断	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	共進会を畜産農家が育種改良や飼養管理技術について情報交換、学習できる数少ない場としてさらなる有効活用を図ることで成果向上が可能		
見直しの 余地	判断	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(下記のとおり)		
その他	説明	畜産農家の高齢化や担い手不足により、共進会の出品点数の確保が難しくなっているため、開催のあり方について見直しの余地がある。		
見直しの 必要性	有	畜産農家の高齢化等により、共進会の出品点数の確保が難しく、また、生きた家畜を1カ所に集めて審査する種畜共進会は、防疫上の観点からも開催が難しくなっているため、見直しが必要である。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

改善済み	説明	令和元年度から、防疫上の観点により県種畜共進会(乳牛)が廃止されたことに伴い、当該開催費補助を廃止した。
------	----	--

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。